しまね文化ファンド申請事業計画書

記入例

入例を参考に作成してください。

(1)申請事業の概要をわかりやすく具体的にご説明ください。(詳細は下段に記入。)

活動拠点である A 市内にある史跡「○○」を題材にした演劇を、その史跡と関係が深い B 町で上演する。会場は町の中心に近い古民家を利用した交流施設とする。脚本、演出、舞台監督などは団体自ら手がけ、脚本制作では歴史研究会、舞台道具では B 町文化協会に協力してもらう。また、B 町在住の方にも一部出演してもらい、上演後には観客交えたアフタートークを実施する。

・(1)では概略を簡潔にまとめて記入ください。
※抽象的な書き方はしないでください。

(1)の詳細(日時、会場、出演・共演者、演目、曲 …点数や種類なども)

演劇「○○○… 」公演 (史跡の説明 …)
日時:7 月 4 日(日) 会場:C 市 B 町 旧○○家 交流の間 (定員 ○○人)
①公演:開演 14:00 (終演予定 15:20)
作・演出:○○(団体代表) 協力:○○
出演:団体会員、B 町在住の方 ○人
舞台道具:B 町文化協会加盟団体
舞台監督:○○(団体代表) 音響
②アフタートーク:15:30~(約 40 分)
・観客、出演者のほか、郷土史研究会、

・(1)の詳細を箇条書きで具体的にご記入ください。
・事業によって記入項目が異なります。
・発表する作品数が多い場合は、細かく名称を記入せず、「約○曲(作品・点)」等と記入してください。

(2)この事業の目的や効果(地域・参加者・関係者への)を、分野(地域文化・芸術文化・国際文化)に絡めて簡潔にご記入ください。

・演劇活動や公演が少ない地域に出かけ、演劇の楽しさや多様性を伝えることを目的としている。また、既存のもの(題材や会場)を有効利用することでその地域や風土に合った文化活動ができること、また埋もれつつある地域の魅力再発見につながることを伝えたい。
・この事業を通して相互交流を行い、広域での演劇文化発展、歴史の掘り起こしを目指したい。
・B 町は、現在 UI ターン者も多く、地域おこし活動も盛んになりつつあると聞く。その方々も巻き込み、地域づくりや地域間交流のヒントなどにもつながればと思う。

(3)事業のポイント ＊過去の実績有無によって記入内容が異なります。「具体的」且つ「明確」にご記入ください。
①今回初めて取り組む事業(新規事業) → 事業の特色や工夫点、特に力を入れたい点などを、
②新規事業以外(継続事業・過去実施経緯のある事業) → 前回との違い(改善点・見直す点)や新機軸について、ご記入ください。

＜ ① ・ ② ＞⇐ いずれか記入

※①
・集客と演出効果の双 …
が作品に合うので、演 …
・演劇への親近感を持 …
※②
・以前、歴史的題材を …
土史研究会のアドバイ …
・市外の団体との連携 …
も情報交換して今後の …

この欄は重要です!
・一行目に①(新規事業)または②(それ以外)を記入し、それぞれに沿った説明を具体的にご記入ください。
※団体の歴史や特徴、また、招聘した講師やゲストの紹介で欄を埋めないでください。
※継続型事業の場合、前回の反省や成果を今回にどう反映させるのか、また今回の新機軸は何かを必ずご記入ください。(実施ごとに内容を見直し、充実化を図ろうとしているかを見ます。)

(4)申請事業における継続計画をご記入ください。 ＊団体の継続性ではなく事業の継続性

・来年 2 月に○○市で開催される「○○フェスティバル」に出場し再演する。
・2 年に 1 回は移動公演を計画したい。
・(海外事業の場合) ○月の定期公演で報告演奏を行い、交流の感想なども一緒に発表する。 …など具体的に。

継続計画があること、また、ほかに事業効果を生かせる場があることは採択に有利です。